

近隣住民の皆様へ

九十九橋 補修工事のお知らせ (車両全面通行止)

このたび、府中海田線 九十九橋 の、塗装の塗替え、伸縮装置の補修工事を
令和7年10月15日 から 令和8年6月15日頃まで **全面通行止** で実施します。
歩行者・自転車の方は、**歩道橋**をご利用ください。車両の方は**迂回**をお願いします。

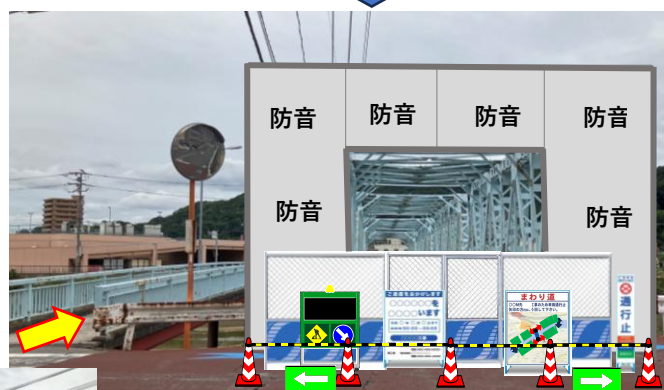
工事内容・通行規制の概要

- ・ 工事名称:一般県道府中海田線道路災害防除工事(九十九橋橋梁補修)その2
- ・ 通行規制(九十九橋):**車両全面通行止**(終日) 0時から24時
- ・ 伸縮装置取替(橋の通行区間にある、舗装の継目部分(橋のジョイント)を交換する)
- ・ 塗装塗替え工(古い塗装のはぎ取り → サビ止塗布 → 新しく塗装する。)



裏面もご覧ください。

迂回路図



足場で困うため通行できません

歩行者・自転車は
歩道橋を通行ください



問合わせ・連絡先



発注者；広島県西部建設事務所 維持第一課 維持第一係 TEL 082-250-8154
(担当：木下、佐藤)



施工業者；国土技建株式会社

TEL 082-422-4492

現場責任者；山本・岡村

携帯電話 080-8234-1430 (山本)

※ 九十九橋について

九十九橋は、昭和25年に瀬野川に架けられた橋梁で、橋長75.0m、全幅4.7m、の橋である。
用いられている鋼材は、終戦直前に空襲を受けた旧海軍工廠(山口県光市)の廃材である。
海軍工廠で用いられていた際のリベット孔や空襲の際に空いた弾痕が残されたまま使われている。
令和3年度には「兵器を製造していた工廠の廃材が戦後復興を支える橋に生まれ変わり、
今もなお人々の生活を支えていることが歴史的に価値がある」との理由から、選奨土木遺産(土木学会)
に認定されています。物言わず静かにたたずむ九十九橋は、いまなお戦争の歴史を後世に語り継いでいる。